5月 サンシャイン 葛飾赤十字産院報

産院からのお知らせ

～被災地でのこころのケア活動の報告～

東日本大震災の発災直後より、当院からも日本赤十字社として救護班や助産師、心のケア要員を被災地に派遣しております。今回は、3月18日から22日まで現地で活動を行った西田看護師より、ご報告をいたします。

石巻赤十字病院にこころのケアセンターが設置され、こころのケアチーム第2班として、この度、当院から東京都支部の代表として現地に行って参りました。

石巻市では現在、この赤十字病院しか機能しておらず、まずは医療存続のために、「スタッフのケアを第一に考えて欲しい」という要請があり、スタッフのためのリフレッシュルームを開設し、アロマを使った足浴やマッサージを行うことで、家や家族を無くしながらも、必死に頑張り続けているスタッフが涙を流せる大事な場所となりました。必要な方には別にゆっくり話を聞く時間を設け、心理士や精神科医に繋げることも大切な役割でした。

またトリアージの黒エリア（遺体安置所）や、安否確認に来られたご家族のサポート、地域の医療関係者などの相談にも応じました。

隣の東松島市の保健所と連携し、保健師が回った中で、被災の大きかった地域や、こころのケアが必要だと感じた避難所を巡回し、一人一人ゆっくりお話を伺いました。避難所の生活も一週間を超え、ストレスも溜まりやすい時期でしたが、「命があって良かった」と口々におっしゃる被災者の方々に、こちらが励まされる日々でした。

現地の心理士や、地域の保健師、他から応援に来られた精神科医と、一丸となってチームを結成していき、小さな力が少しずつ大きな力となりました。また、各地の日赤から派遣されたこころのケア要員と、お互いに支え合って活動を行えたことは、このような大事な任務を果たすうえで大切な活力となりました。

今回の派遣で、たくさんの悲しみに直接触れて、より人に優しく生きていけたらと強く思いました。この活動の中で貰えた多くの大事なもの、お一人お一人との出会いの感謝を、今後の看護や東京での日々に繋げていけたらと思っております。それが被災者の方々へのエールに繋がればという想いを抱きながら、皆様の日々が昨日より今日、今日より明日が明るく、温かなものでありますように。

NICU看護師　西田まどか

～ふれあい赤十字デーのお知らせ～

3月11日14時46分、宮城県三陸沖でわが国の観測史上最大の『東日本大震災』が発生しました。この巨大地震とそれに伴い発生した大津波により、死者・行方不明者2万数千人以上という戦後最悪の被害をもたらしました。私たち日本赤十字社は、被災者のいのちと健康を守り、生活再建を支える取り組みに総力を挙げています。

当院では、今年も**赤十字運動月間**の一環として、5月21日に**ふれあい赤十字デー**を開催いたします。今年度は東日本大震災で被害を受けた人たちの支援のため、**バザーの売上を被災者への義援金に充てるとともに、募金活動も実施いたします**。ご家族・お友達をお誘い合わせの上、是非足をお運びください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

～赤十字運動月間～

赤十字創始者アンリー・デュナンの誕生日が５月８日であることから、赤十字では５月を「赤十字運動月間」としています。より多くの方に赤十字のことを知っていただき、赤十字の思想に賛同していただけるよう各地で様々なイベントやキャンペーンを行っております。（詳しくはコチラへ）

ふれあい赤十字デー

日時　平成２３年５月２１日（土）　午前１０時～午後３時（入場無料）

場所　葛飾災害救護倉庫（当院第二駐車場となり）

内容　**東日本大震災 救援活動報告会**
赤十字事業紹介（日本赤十字社東京都支部・東京都赤十字血液センター）
ふれあいマーケット（手芸品・おもちゃ・野菜・生花・パン等）
産院バザー（売上は東日本大震災義援金に充てさせていただきます）
フラダンスクラブ発表会
非常食の炊き出し
AED の体験
子どもの遊び場（輪なげ、スーパーボールすくい）

※荒天の場合のみ中止の可能性があります

【昨年の様子】

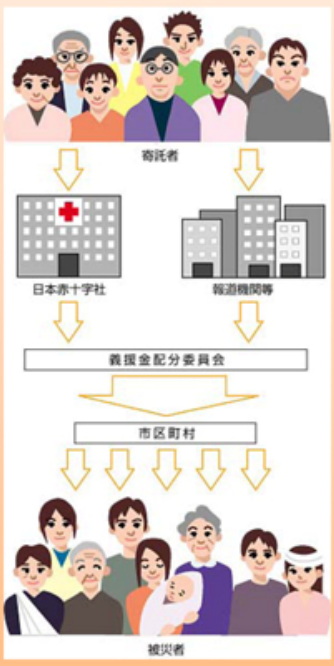
会場の様子「けんけつちゃんがやってきた！」

ＡＥＤ体験

フラダンスクラブ発表会

子ども遊び場（スーパーボールすくい）

～義援金って何だろう？？～



「義援金」は、災害により生命・財産に大きな被害を受けた方々に対する慰謝激励の見舞金の性格を持つもので、受付けた義援金は被災された方々に全額、迅速かつ公平に配分されます。義援金は、日本赤十字社だけでなく報道機関など多くの団体が受付け、第三者機関である義援金配分委員会に拠出されます。義援金配分委員会では、各機関で受付けた義援金をとりまとめるとともに、配分基準を作成し、被災された方々へ配分を行います。（東日本大震災の義援金についてはコチラへ）

義援金へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。